

# 2024年 住之江区制50周年

# これまでの50年 >>>>>> これからの50年

住之江区は、昭和49(1974)年7月22日に住吉区の分区により誕生しました。大阪市の湾岸部南端に位置し、北部は木津川、南部は大和川、西部は大阪湾に接しています。面積は20.68km<sup>2</sup>と大阪市24区中で最大となっており、人口は約11万7千人で大阪市第9位です(令和6年3月1日時点)。私たちが今住んでいる住之江区にはどんな歴史があるのでしょうか。

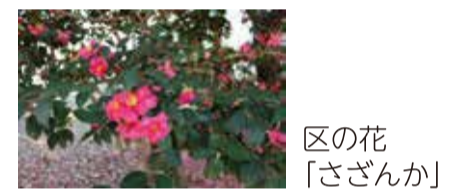


昭和49(1974)年7月22日に住吉区の分区により誕生した住之江区は、古くは、区の東部地域(粉浜・安立)までが海に面しており、住之江区の大半は、大和川の付け替えとそれに伴う浅瀬の拡大や加賀屋甚兵衛による新田開発等により、西へと拡大してできた陸地です。

明治以降には大阪府住吉郡、明治29(1896)年には東成郡(粉浜村、安立町、墨江村、敷津村)となり、大正14(1925)年の大阪市編入により大阪市住吉区となりました。

昭和30年代から昭和42年ごろにかけて大正区小林、千島、恩加島地区から区画整理事業により、木材産業を中心とした移転が行われ、昭和52(1977)年には南港ポートタウンがまちびらきされました。

近年では、平成31年に世界へはばたく人材を育むために大阪市立水都国際中学校・高等学校(現在は大阪府立)が南港ポートタウンに開校したほか、令和元年6月には大阪国際見本市会場(インテックス大阪)において、G20大阪サミットが開催されるなど、現在も発展し続けています。



区の花「さざんか」



## 住之江区の魅力を紐解く! 名前の由来と愛されるキャラクター

### 区名の由来

神功皇后の時代に出現した住吉大神が鎮座する場所を求めて巡行しこの地に至った時、これぞ住むべき国であると「真住吉住吉国(ますみよしすみのくに)」と讃え、社地に定めたことに由来します。



### マスコットキャラクターさざびー

住之江区の花「さざんか」の妖精。住之江区制30周年を記念し公募で選ばれました。(応募総数351通) 生年月日:平成16年11月13日 大好物:さざびー焼き



子どもから高齢者まで、住之江区で暮らし、学び、働くすべての人が、自分の将来に夢と希望を持って、地域など、周りの人々と幸せに暮らすことのできるまちをめざします。

住之江区の名前の由来のとおり、住みよい区、すなわち“e-SUMINOe”を私たちの「めざす将来像」とします。



### 住之江区制50周年記念イベント等をご紹介します!

住之江区制50周年を一緒に盛り上げてくださるイベント等をご紹介します。こちらぜひチェックしてください!



### 住之江区制50周年記念冠&ロゴを使いませんか?

住之江区制50周年を一緒に盛り上げてくださるイベント等を募集しています! 右の二次元コードからお申込みください。お待ちしております!



住之江区制50周年という節目の年に、記念事業を実施しお祝いするため「住之江区制50周年記念事業実行委員会」が立ち上がりました。今後、実行委員会で企画を検討いただき、区民の皆さまとも連携して共に盛りあげていきたいと思います。



委員長 中野 紀久雄

### 住之江区制50周年記念事業実行委員会 委員長あいさつ

区民の皆さま、住之江区制50周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。私たちの暮らすまち住之江区は、昭和49年7月22日に大阪市の行政区画の変更にともない住吉区から分区し、令和6年7月22日で50周年を迎えることとなりました。住之江区制50周年を多くの皆さまと一緒に祝いできますことを大変嬉しく思います。この50周年を契機といたしまして、区民の皆さま、住之江区のさらなる発展を祈念しますとともに、住之江区制50周年記念事業につきましても、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申しあげまして、あいさつとさせていただきます。

# 住之江区制50周年 × 大阪・関西万博

住之江区制50周年の翌年2025年には大阪・関西万博が開催されます。住之江区では、様々なイベントを通じて、万博の目的の1つである「SDGs達成への貢献」に関して、区民の皆さまにSDGsを「わがこと」として考え、行動いただけるよう啓発していきます。

万博については次のページへ